

〔刊夕日四十二〕

## 擊滅を讀む□□

皆川義忠

日本海々戦に於ける我が

艦隊の武勇はさることなが

る本書のために題名を書し

て與へられてゐる。

（119）中西洋々作

幕參り（八）

布施義春畫

喜んで、た言葉に甘にさ

くするものであるばかりでな

いとこで、もうお戻りでございま

すか。甚作は待ち構へたよ

あ、旦那さま。そのとき

は、露雲艦隊の勇威があま

く、また當時に於ける日本

軍の意氣、全國民の期待

を如實に現したものであ

る。甚作は如何に善戦

を發揮して敵を撃破する

事なるに近きて瞬間に破敗

した。甚作は待つて勝利

を手に取るが、そち

うにこれと迎へました

は、神機もどこのふちやらう

うにこれと迎へました

は、大變むさびかけて

「さあ、どうぞ、大變むさ

びかけて

は、不思議の

がはづかしく自分の心の中には

見えずかされはしなかつた

とおもふのちやが、そち

うにこれと迎へました

は、光はさ

つきまでの嫉妬がまじひぬ

とがムヒませう」に光はさ

て興へられてゐる。

（119）中西洋々作

喜んで、た言葉に甘にさ

くするものであるばかりでな

いとこで、もうお戻りでございま

すか。甚作は待ち構へたよ

あ、旦那さま。そのとき

は、露雲艦隊の勇威があま

く、また當時に於ける日本

軍の意氣、全國民の期待

を如實に現したものであ

る。甚作は如何に善戦

を發揮して敵を撃破する

事なるに近きて瞬間に破敗

した。甚作は待つて勝利

を手に取るが、そち

うにこれと迎へました

は、神機もどこのふちやらう

うにこれと迎へました

は、大變むさびかけて

「さあ、どうぞ、大變むさ

びかけて

は、不思議の

がはづかしく自分の心の中には

見えずかされはしなかつた

とおもふのちやが、そち

うにこれと迎へました

は、光はさ

つきまでの嫉妬がまじひぬ

とがムヒませう」に光はさ

て興へられてゐる。

（119）中西洋々作

喜んで、た言葉に甘にさ

くするものであるばかりでな

いとこで、もうお戻りでございま

すか。甚作は待ち構へたよ

あ、旦那さま。そのとき

は、露雲艦隊の勇威があま

く、また當時に於ける日本

軍の意氣、全國民の期待

を如實に現したものであ

る。甚作は如何に善戦

を發揮して敵を撃破する

事なるに近きて瞬間に破敗

した。甚作は待つて勝利

を手に取るが、そち

うにこれと迎へました

は、神機もどこのふちやらう

うにこれと迎へました

は、大變むさびかけて

「さあ、どうぞ、大變むさ

びかけて

は、不思議の

がはづかしく自分の心の中には

見えずかされはしなかつた

とおもふのちやが、そち

うにこれと迎へました

は、光はさ

つきまでの嫉妬がまじひぬ

とがムヒませう」に光はさ

て興へられてゐる。

（119）中西洋々作

喜んで、た言葉に甘にさ

くするものであるばかりでな

いとこで、もうお戻りでございま

すか。甚作は待ち構へたよ

あ、旦那さま。そのとき

は、露雲艦隊の勇威があま

く、また當時に於ける日本

軍の意氣、全國民の期待

を如實に現したものであ

る。甚作は如何に善戦

を發揮して敵を撃破する

事なるに近きて瞬間に破敗

した。甚作は待つて勝利

を手に取るが、そち

うにこれと迎へました

は、神機もどこのふちやらう

うにこれと迎へました

は、大變むさびかけて

「さあ、どうぞ、大變むさ

びかけて

は、不思議の

がはづかしく自分の心の中には

見えずかされはしなかつた

とおもふのちやが、そち

うにこれと迎へました

は、光はさ

つきまでの嫉妬がまじひぬ

とがムヒませう」に光はさ

て興へられてゐる。

（119）中西洋々作

喜んで、た言葉に甘にさ

くするものであるばかりでな

いとこで、もうお戻りでございま

すか。甚作は待ち構へたよ

あ、旦那さま。そのとき

は、露雲艦隊の勇威があま

く、また當時に於ける日本

軍の意氣、全國民の期待

を如實に現したものであ

る。甚作は如何に善戦

を發揮して敵を撃破する

事なるに近きて瞬間に破敗

した。甚作は待つて勝利

を手に取るが、そち

うにこれと迎へました

は、神機もどこのふちやらう

うにこれと迎へました

は、大變むさびかけて

「さあ、どうぞ、大變むさ

びかけて

は、不思議の

がはづかしく自分の心の中には

見えずかされはしなかつた

とおもふのちやが、そち

うにこれと迎へました

は、光はさ

つきまでの嫉妬がまじひぬ

とがムヒませう」に光はさ

て興へられてゐる。

（119）中西洋々作

喜んで、た言葉に甘にさ

くするものであるばかりでな

いとこで、もうお戻りでございま

すか。甚作は待ち構へたよ

あ、旦那さま。そのとき

は、露雲艦隊の勇威があま

く、また當時に於ける日本

軍の意氣、全國民の期待

を如實に現したものであ

る。甚作は如何に善戦

を發揮して敵を撃破する

事なるに近きて瞬間に破敗

した。甚作は待つて勝利

を手に取るが、そち

うにこれと迎へました

は、

# 平の魚屋騒動

益々もつれて來た

平町の魚市場問題は引續きに取引所側では一方に妥協繼續してゐるので、魚市場は更三絲其他關係方面に取引所の止運動を續けてあるが、去る二十日市場側である漁聯合魚商會から取引側に對して

妥協案を提出し來り、二十七日に回答を與へることになつてゐたが、二十二日太田謙蔵副議長が突如如

平も市場、幹事と協議を重ね二十三日には加納所長、

に至つてゐたが、二十二日日本太田謙蔵副議長が突如如

引側に對して

妥協案を提出し來り、二十七日に回答を與へることになつてゐたが、二十二日太田謙蔵副議長が突如如

に分け四日は平磐通りより西全部五日は磐東全部成に功ある新田目春松、廣田徳行兩評議員に記念品を贈呈せしめられた。この日は道路問題も勿不當なもので、その結果として、二十三日午後一時から平町四丁目の組合事務所にて、四十五年間に當る年は創立三十週年に當る級二十五年徒数千名卒業生のものである五月五日これが祝

式にて幹部會を開き魚商會の幹部會を開催する事となりたので、二十七日の問題の解決迄には相當波瀾がある。

五分の出炭減

日星がついた

桑原の足跡

平磐躍起活動

五分の出炭減

桑原の足跡

平磐躍起活動

上の職員並に同窓會名簿作成に功ある新田目春松、廣田徳行兩評議員に記念品を贈呈せしめられた。この日は道路問題も勿不當なもので、その結果として、二十三日午後一時から平町四丁目の組合事務所にて、四十五年間に當る年は創立三十週年に當る級二十五年徒数千名卒業生のものである五月五日これが祝

式にて幹部會を開催するが同校創立當時に僅四十人前後の卒業生は毎年其數二百人に近く學年は四年より五年の行方不明な事態が現れ、近因は今回町榆田吉氏の在りて死亡した職員に對して見なければ知ら

れし供物を捧げると尙ほ並んで近く同窓會生徒の記念大會に開催するが同校創立時に至りて道路問題も勿不當なもので、その結果として、二十三日午後一時から平町四丁目の組合事務所にて、四十五年間に當る年は創立三十週年に當る級二十五年徒数千名卒業生のものである五月五日これが祝

式にて幹部會を開催するが同校創立時に至りて道路問題も勿不當なもので、その結果として、二十三日午後一時から平町四丁目の組合事務所にて、四十五年間に當る年は創立三十週年に當る級二十五年徒数千名卒業生のものである五月五日これが祝

式にて幹部會を開催するが同校創立時に至りて道路問題も勿不當なもので、その結果として、二十三日午後一時から平町四丁目の組合事務所にて、四十五年間に當る年は創立三十週年に當る級二十五年徒数千名卒業生のものである五月五日これが祝

式にて幹部會を開催するが同校創立時に至りて道路問題も勿不當なもので、その結果として、二十三日午後一時から平町四丁目の組合事務所にて、四十五年間に當る年は創立三十週年に當る級二十五年徒数千名卒業生のものである五月五日これが祝

式にて幹部會を開催するが同校創立時に至りて道路問題も勿不當なもので、その結果として、二十三日午後一時から平町四丁目の組合事務所にて、四十五年間に當る年は創立三十週年に當る級二十五年徒数千名卒業生のものである五月五日これが祝